

## 仙人通信 228 念仏山(357m)

念仏山は、大山から南に伸びる尾根の弘法山と高取山のほぼ中央に位置する山である。今回は弘法山から念仏山、そして仙人通信 151 で紹介した高取山までの〔野菊と信仰の道〕と呼ばれるコースとした。(野菊では無くコウヤボウキが主体であるが??・・)善波トンネル先(秦野側)にある弘法山公園の第二駐車場に車を置いてのスタートである。秦野駅・権現山・弘法山・鶴巻温泉へと繋がるコースの権現山と弘法山の尾根のほぼ中央に登った後、弘法山へ向かうコースだ。山頂(235m)には弘法大師を祀った大師堂があり、ほぼ 30 分で到着だ。この時期は、梢越ではあるが雪の富士山を望む事ができる。念仏山に向かって 10 分程下がると鶴巻方面を結ぶ、江戸時代の大山街道の矢倉沢往還だ。文政 10 年に旅人の峠越えの安全の為に御夜燈が設けられ、地元の人が油を提供したと掲示板にある。ここからは登りとなり 10 分程で国道 246 号の善波トンネルの上を、更に 15 分程登ると鉄製の網の扉があり、開閉して網に沿って進む。送電線の鉄塔の下を抜け、岩や木の根の急坂を進む事 10 分で念仏山の山頂だ。近くの掲示板には、秦野名古屋地区の方々がこの地に集い、昭和 17 年頃まで定期的に念仏講をしてきた山であるとある。現在も赤い頭巾を付けた石仏が祀られている。この辺りからは江の島や三浦の湘南の海を望む事ができた。大山に向かい 25 分程で最初のピークとなり、白い塔の立つ高取山が正面に、左手下には東京カントリークラブが、又梢越ではあるが富士山が綺麗である。小さなピークを 5 個程越えた所が、先に報告した聖峰へのコースの分岐(20 分)である。聖峰からの眺望を思い出し暫し休憩した。丸太を重ねた急な階段を 10 分程登ると高取山の山頂である。スタートから丁度 2 時間 25 分程で到着することが出来た。檜の幹越しではあるが浅間山の先にヤビツ峠や大山が望めるビューポイントだ。山頂には先に述べた白く大きな無線中継のアンテナが聳えている。因みに晴れている日には、我が家(座間市)の窓からも確認できる大きなアンテナである。ここで大山方面の登山道から離れ、ヤビツ峠に向かう県道 70 号の寺山地区に向かう。梢越しの富士山や箱根方面の山脈を正面に見ながら、15 分程で先程同様の金網で出来た扉を開閉してゴルフ場の上に出る。ここからは綺麗な富士山を望む事が出来た。ゴルフ場の柵に沿って南に下がると 8 分程で林道だ。僅かに右へ進むとゴルフ場の鉄製の扉があり、開閉して、ゴルフ場の中の路となる。急なアスファルトの道を 15 分程で一般道に出、更に 15 分程で寺山地区の県道 70 号に到着だ。ここは秦野城や実朝の首塚で有名な地でもある。県道沿いを国道 246 の名古屋木に歩き、更に賀茂神社の先の駐車場まで 65 分を掛け歩いた 4 時間 15 分(18000 歩)のハイキングとなりました。(R 5. 1. 1 0)

弘法山大師堂



念仏山



高取山



ゴルフ場上からの富士山

